

J A 広島総合病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	高齢糖尿病患者の足病変が身体活動量に与える影響
倫理委員会承認番号	No.19-66
研究の対象	2018年12月から2019年11月まで当院でバルーン大動脈弁形成術(BAV)を施行したAS患者13例を対象とします。
研究目的・方法	バルーン大動脈弁形成術(BAV)は重症大動脈弁狭窄症(AS)に対する姑息的治療方法です。BAVは局所麻酔下に施術可能で、坂田らは心不全回避については多くの症例で1年またはそれ以上が見込め、症候寛解に有用と報告しています。BAV施行後は1ヶ月で心機能が立ち上がるのでBAV後に患者背景や症状、虚弱性を再評価し根治療法に繋げるかどうか判断する”トリアージ目的のBAV”が現在見直されています。本研究では当科でBAVを施行した症例の長期経過(心不全再入院率、生存率)を評価します。
研究に用いる 試料・情報の種類	治療内容、治療前後の患者状態・心エコー検査データ・血行動態データ、患者生存率や心不全再入院率などを診療録や検査・画像データを参考に調査します。患者さんに新たな負担をかけることはありません。
外部への 試料・情報の提供	外部への試料・情報提供は行いません。
個人情報の取り扱い	使用した情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は2020年9月に開催される第27回日本心血管インターベンション治療学会(CVIT)中国四国地方会のBAV club(シンポジウム)にて発表予定です。また論文投稿も予定しています。その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。
利益相反の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> ()
お問い合わせ先	廿日市市地御前1丁目3番3号 J A 広島総合病院 循環器内科 研究責任者：赤澤 良太 TEL：0829-36-3111 / FAX：0829-36-5573
備考	